



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
 OSAKA, JAPAN

October 2004~05 No.4
 Chartered July 20, 1982

主題 Y'S THEME (2004~2005)

センテニアルクラブ会長：『人が人として心豊かに生きるために！』
 国際会長：『Let Your Light Shine』『輝かせ あなたの光を』
 アジア会長：『Love your neighbors as yourself.』
 『自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ』
 西日本区理事：『“皆な仲間” 働こう!!』
 中西部長：『響き合い、ともに歩む』

クラブ役員 Officers

会長：石津 雅人
 副会長：谷川 俊一
 //：鎌田 史朗
 書記：山田 孝彦 (主)
 //：栗山 佳三
 会計：三浦 直之 (主)
 //：鎌田 史朗
 ネット会長：坂本 千春
 Y連絡職員：浜野 昌保

月間強調テーマ：『BF』

10月の聖句
 [Biblical Message of October]

10月の例会
 [October Club Meeting]

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合
 いなさい。これがわたしの掟である。友のために自分
 の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。

(ヨハネによる福音書 15章12~13節)

○ 10月 第1例会

日時：2004年10月20日(水)18:30~20:30
 場所：東洋ホテル3階

- 司会 谷川 有美子メネット
 坂本 千春メネット会長
1. 開会点鐘 坂本 千春メネット会長
 2. ワイズソング 一同
 3. ゲスト紹介 谷川 有美子メネット
 4. 聖句朗読 福永 滋子メネット
 5. 今月のテーマ「BF」栗山 佳三君
 6. 日々の糧・晚餐 一同
 7. ゲストスピーチ 佐野 禎子氏
 「インテリアの中のカラーコーディネイト」
 8. ミャンマーYMCAへの贈呈 石津 雅人会長
 9. インフォメーション 各担当
 10. お誕生日祝い・ニコニコ献金 一同
 11. 閉会点鐘 坂本 千春メネット会長

○ 10月 第2例会

日時：2004年10月27日(水) 18:30~20:30
 場所：大阪YMCA土佐堀館9階

*10月例会当番 3班 (藤原、中村茂、浜野、
 黒田、池永)

Attention Please

1. 10月例会のスピーカー、佐野 禎子 (よしこ) さんは、イン
 テリアデザインの世界。米国 (ニューヨーク、デンバー)、
 南米 (ベネズエラ) に在住 数年。元 ワイズメンズクラブ芦屋
 クラブの会員でもあります。
 みなさん、当日は自分の好きな色の布を 持参してください。
 カラーコーディネイトを、楽しみます。

2. センテニアルクラブ「秋の健康ハイキング」のご案内
 11月23日(火)・初 10:00 JR六甲道駅 or 阪急六甲駅に
 集合して、タクシーに分乗 ~ 10:30集合 丁字ヶ辻 ~
 六甲山森林植物園 ~神戸電鉄 谷上駅へ (15時ころ解散)

*10月お誕生日 Happy Birthday!
 谷川俊子メネット1日、鎌田メネット22日

【クラブ統計 Statistics】 下欄()は、うち 広義会員を表わす

2004年9月	種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 21(1)名	メ ン	13(1)名	9名	9月:切手 460gr. 現金 2,500円	9月:14,400円
例会出席 13(1)名	メネット	5名	名		(04年7月~04年9月の)
うちメークアップ 名	ビジター	2名	名	(04年7月~04年9月の)	累計: 42,300円
	ゲスト	21名	名	累計:切手 1,125 gr. 現金 6,500円	(除く、クリスマス献金、 オークション、記念献金)
出席率 60.0%	合計	41名	9名		

【 Report of the September Club Meeting 】
 (9月15日(水) 18:30~20:30 東洋ホテル)
 プリテン 松浦 孝次

● 8月下旬のフレンドシップ・パーティーが成功裡に終わったことを記念して、関係者の方々をお招きし、総勢41人が出席して、ホテル2階宴会場で賑々しく開催しました。

メン13人、メネット5人。ゲストとして中西部長松本さん、ヴェクセルクラブの本田さん、大阪YMCAの樋上・浜崎さん、関西テレビ青少年育成事業団の老邑・坂本さん、奈良NPOセンター(あるいはならファミリー&フレンド)の中川・内海・アダルシュさんを迎えました。

そして、事前の準備段階から本番まで、大変活躍してくれたキャンプリーダー—大阪YMCAの4人、アサヒキャンプカウンセラーズの6人、関西テレビ青少年育成事業団の4人計14人が、出席してくれました。

● 栗山佳三メンの司会のもとに、ゲストの紹介、福永嘉彦メンによる聖句朗読のあと、パーティーを開始しました。

キャンプ長であった畠中 彬メンは、

「小学生から大学生まで広がりのあるキャンプは、例のないこと。また、公募の大阪の子どもたちは独りでの参加なので、最初案じた。しかし、最終日子どもたちの涙の別れを見て、これでよかったと思った。ただ、台風襲来のおそれがあり、とくに中絶のメンバーが無事帰れるのか随分悩んだ」。

マネージメント・ディレクターのYMCA 樋上さん、浜野さんも、台風16号の襲来が気がかりであったと(2日後の30日に大阪に影響あり)。

ならファミリー&フレンドの内海さんは、「子どもたちは非常に満足し、多くの友達を得た様子。キャンプのあと、大阪の子が 奈良の子どもたちを自発的に訪ねてきて、再び交流があったのです」と、エピソードも紹介されました。なら NPO のアダルシュさんは、「キャンプで心と心のつながりが実現しました。最終日 駅での涙の別れは“世界はひとつ”を物語っています」

● キャンプディレクターの中村茂高メンの司会で、フレンドシップキャンプの写真とビデオが紹介されました。その間、14人のキャンプリーダーたちがこもごもにコメント。最後に、キャンプリーダーたちが、このキャンプのテーマソングともいえる「ねの歌」を斉唱しました。

浜野昌保メンは、「大阪YMCAとしてこのような有意義な集いをもてたことを感謝します」と締めくくりました。

再度こうしたキャンプを持てることを祈って、みんな握手をして散会しました。

第二次世界大戦直後、日本の各界はアメリカから援助を受けること多大でした。YMCAにおいても *fraternal secretary* (協力主事) と呼ばれる人々が北米YMCA同盟 (USAとカナダ両Yの協力機構) から派遣されてきていました。

デーン・リーパー (Dean Leeper) 氏はイリノイ大学を卒業後、YMCAに入り、学生YMCAの指導のために日本に派遣された若い主事でした。

昭和29年9月26日に、丁度、先日の16号や18号台風と同じようなコースを辿った台風が、青函連絡船の洞爺丸を襲いました。函館湾で立ち往生した洞爺丸の船室では、リーパー主事(北海道の学Yを歴訪しての帰途)は周囲の乗客達に助ましの言葉をかけながら、救命胴衣の着用を手伝って廻っていたそうです。自分の装着はあと回しにして。(生存者の言葉から)。

まもなく船は船底を上にして転覆し、千数百人の乗客が遭難しました。無事を祈りながら現地に駆けつけた池田主事(後の同盟総主事)は、転覆の数日後に船室内で発見され遺体安置所に置かれたリーパー主事に直面しました。

今年は彼の召天50年に当り、去る9月25日東京でミッジ夫人を招いて偲ぶ会が盛大に開催されました。自分の命をかまわず、救命にあたったリーパー氏の愛の生涯を私たちYの関係者はいつまでも覚えていたいと思います。

(聖句選、コメント：黒田巖之)

黒田巖之メンは、今月の聖句にちなんで、次ぎのコメントを寄せておられます。

余談ですが、この出来事は三浦綾子女史の「氷点」にも出ております。一緒に乗り合わせたストーン宣教師も最後まで他の乗客の救命胴衣を手伝ったということが、当時の新聞にも報道されていました。私は、ちょうど広島で開かれた青年たちのリーダー協議会に参加しているとき、その台風(中国地方を横断して北海道へ抜けました)に会い、凄まじい風に驚きましたが、その時はまさか洞爺丸の大惨事は予測できませんでした。



(9月例会、キャンプリーダーたちが「ねの歌」を歌う)

9月第2例会

【 Report of the September Club Meeting 】

(9月22日(水) 18:30~20:40 大阪YMCA)

1. 10月第1例会プログラム

第1面のとおり。メネットさんが企画・運営する。ゲストスピーカー佐野 禎子さんは、谷川有実子メネットの紹介。

2: 協議事項及び連絡事項

(1) フレンドシップキャンプの会計報告

浜野メンから、YMCA事務局として報告あり。
やや赤字。なお、ワイズ西日本区CS事業としての助成金を同区に対して申請中。

(2) 中西部合同メネット会 & 中西部会 (10/2) への出席を確認。

(3) 香港 Bauhinia Club 25周年記念会へ、石津会長、谷川寛メンが出席。わがクラブから、お土産を持参する。

(4) 土佐堀YMCAカーニバル (11/3) 第1回拡大実行委員会に、わがクラブから、石津会長、山田書記が実行委員として出席する。クラブとしてバックアップする。

(5) 大阪YMCAチャリティラン (11/3) には、2チームエントリーする。うち1チームは、生野養護学校生徒がメンバー。なお実行委員会には、石津会長、三浦メンが出席。また参加メンバーの選定 (関西テレビからも応援を乞う) 等は畠中メンに依頼する。

(6) 東京セントラルクラブとのDBC締結は、来年2/19・20御殿場YMCAでの東西日本区交流大会のときに行う計画で、同クラブと相談する。 わがクラブのみなさん、大挙して御殿場に行きましょう!! なお、年内に同クラブ例会に山田書記、藤原DBC委員が出席する。

(7) センテニアルクラブ「秋の健康ハイキング」の実施 11/23(火) 午前10時 JR六甲道駅 or 阪急六甲駅に集合する。タクシー分乗~丁字ヶ辻~六甲山森林植物園~神戸電鉄 谷上駅へ(15時ころ解散 雨天中止)。

(8) わがクラブのEMCについて。 魅力あるクラブに向けて、事業・活動を改めて見直し、会員獲得に乗り出そう。シンポジウム(9/11)での京都グロ-バルクラブの活動に注目。今後のクラブの大きな検討課題であることを確認した。

お知らせ

1. なかのしまクラブ10月例会

日時: 10月13日(水) 18:30~
「切手収集は世界を結ぶ」稲葉良一氏

2. 関西いのちの電話 バザール

日時: 11月6日(土) 9~12
場所: 淀川区十三元今里 で開催

3. 大阪YMCAチャリティラン

日時: 11月7日(日) 9~12
場所: 万博公園で開催

YMCA ニュース

大阪YMCA統括本部 浜野 昌保

センテニアルワイズが支援しているミャンマー・マンダレーYMCAのスタッフ、スエスマーさんが、大阪府の助成を受け9月16日に来阪しました。スエさんは昨年4月まで約半年間、大阪YMCAにて研修を受けていました。今回は約3ヶ月間の滞在予定で、統括本部・松尾台幼稚園及び聖和大学で、幼児栄養や幼児保育について学びます。
なお、10月例会にゲストとしてお招きし、今年度の支援金をお渡しします。

★第52回大阪南YMCA早天祈祷会

日時: 10月8日(金) 午前7時30分~8時30分

場所: 大阪南YMCA

証し: 新川信旨氏 (ハイビーエー関西スタッフ代表 伝道師)

問合せ: 大阪南YMCA Tel.06 (6779) 8362

★大阪北YMCA会員礼拝

日時: 10月12日(火) 午後7時~7時30分

場所: 日本キリスト教団豊中教会

説教: 三谷高康牧師

問合せ: 大阪北YMCA Tel.06 (6867) 4744

★キリスト教フォーラム”冠婚葬祭とキリスト教”

日時: 10月14日(木) 午後7時~8時30分

場所: 大阪YMCA会館 10階チャペル

講師: 岡村恒氏 (日本キリスト教団大阪教会牧師)

参加費: 500円

問合せ: 大阪YMCA国際・社会奉仕室 Tel.06 (6441) 0894

★第138回大阪YMCA早天祈祷会

日時: 10月15日(金) 午前7時30分~8時30分

場所: 大阪YMCA会館 10階チャペル

証し: 船戸輝久氏 (大阪YMCA学院スタッフ)

問合せ: 大阪YMCA Tel.06 (6441) 0894

♂

4. 土佐堀YMCAカーニバル

日時: 11月3日(祝・水) 11:00~15:00

場所: 大阪YMCA会館

土佐堀YMCAにかかわるワイズメンズクラブ、協力会員、またYMCA国際専門学校などが、一堂に集まって楽しく交流を行います。バザーのための献品もご準備ください。

5. 土佐堀YMCAクリスマスのつどい

(今年は礼拝とコンサートを、別の日に開催します)

・クリスマス礼拝 —12月11日(土) テーマ「こころ」
18~18:45 礼拝 大阪教会

19~20:30 静かな祝会 大阪YMCA会館

・クリスマスコンサート—12月25日(土)

17:00~19:00 大阪YMCA 来場500名目標
沢 知恵さん (今年のコンサートは大好評でした)

♂

Club Activities (September, 2004)

A total of 41 Y'smen, Y's menettes, and guests were in attendance at the dinner party of the club held at the Toyo Hotel on September 15, 2004. This was a gathering to express our thanks to those who played active part in the successful Friendship Camp for the AmerAsian and other children of multi-nationalities from Okinawa, Nara and Osaka.

We were very happy to see smiling faces of young camp leaders from Osaka YMCA, Asahi Camp and Kansai TV Corp. among our guests.

We are quite sure the camp would not result in success without their distinguished services.

This year, a total of 34 children participated in this mountain and seaside summer camp around Kobe and Osaka areas and deepened friendship and mutual understanding during four days camp.

The Asahi Shimbun reported in full detail of this camp with pictures and all members were strongly encouraged by the good reports made by all parties concerned for the camp at the party.

IBCクラブニュース

IBC・DBC委員長 藤原 正巳

"Aloha from Hawaii": Nuuanu クラブ・ブリテンから

・FOODLAND GIVE ALOHA PRPGRAM に参加

9月に恒例の上記プログラムに参加し、慈善活動を実践すると共に、クラブ会計を支えるファンド作りを行います。具体的にはBBQチキンを会員総出で販売し、売り上げの一定割合(17%)を成功報酬的に受領するもので、慈善活動とファンド作りが同時に行えるよいシステムです。

"Bauhinia News": 香港 Bauhinia クラブ・ブリテンから

・同クラブ会員、「Elmer Crowe Award」を受賞

クラブ元会長の Elsie Li Woo さんが、インド Kochin で開催された国際大会で栄えあるエルマー・クロウ賞を受賞されました。香港地区理事としての功績が評価されたもので、誠にありがとうございます。



(インド国際大会の開会式)

ワイズ国際大会に参加して (2004. 8. 12~8. 18)

三浦 直之

第66回国際大会が、インドのコーチンで開催され、センチニアルからは山田、三浦が参加した。総人数は約650人で少なめであった。(日本からは西日本区約50人、東日本区約70人が参加)

8.12(大会初日)は、開会式、フラッグセレモニー、特別ゲストのインド前首相グジラ氏のスピーチ等があった。夜は、直前国際会長主催の晩餐会が会場に隣接するメリディアンホテルの庭園で行われた。

8.13は、希望者のみで、コーチン市内観光。夜は、次期国際会長主催晩餐会が、私達が宿泊しているタジマバーホテルの庭園で行われた。

8.14 午前中は地域会議討論会があり、午後からは、大会参加者全員で川下りクルーズを楽しんだ。途中、歌合戦あり、また夕立ありで、ハプニングの連続。夜は、国際会長主催の晩餐会が、大会会場の庭園であった。

8.15は、インド独立記念日でもあり、早朝ホテルの庭園でセレモニーがあった。午前中、ユースコンボケーション、ユースレポート、そして閉会式が行われた。

8.16は、6:00デリー発の特急列車でアグラ日帰り観光。ツアーのハイライトであるタージマハール等の観光をしたが、予期したとおりの壮麗さだった。

8.17(最終日)デリー市内観光。そして23時発のインド航空で、大阪への帰路についた。

<気候> 7月~9月は雨期に当たり、1日1回は、1~2時間程 激しい雨が降った。気温は、最高が32.3度位で、大阪の暑さとあまり変わらなかった。

<コーチンの印象> 古くからの貿易港で、ヨーロッパ人と南国調がうまくミックスされた雰囲気のある都市。

<生活> 生活基盤が未発達で、貧富の差が非常に大きい。宗教はヒンズー教が大部分を占める。

<交通> 交通事情は非常に悪い(悪路、混雑、交通规则等)。時間もルーズで、遅れることが常態である。いわゆる、インド時間。

<最後に> めったに行くことのない所へ旅し、貴重な経験ができ感謝している。又、旅行期間中を通じて献身的にお世話下さった、奈良ワイズのメンバーであり、今回の旅行社から添乗員として参加された高橋氏に心からお礼を申し上げる。



(山田・三浦メン、コーチン市の宿泊ホテルの庭で)

フレンドシップキャンプを終えて

2004. 8. 25 (水) ~ 28 (土)
六甲山YMCAと 大阪府立青少年海洋センター

中村 茂高

「フレンドシップキャンプ」は、沖縄のアメリアンの子どもたち 15 人、奈良県在住の中国籍の9人、一般から公募した 10 人の小学生から高校生までの 34 人が参加し、28 日無事終了することができました。

9月 15 日、フレンドシップキャンプ打ち上げパーティーの席上で、「高校生のアヤノちゃんが奈良に遊びに来てくれました」と、ナラ・ファミリー&フレンドの内海眞子さんが顔を紅潮させ話してくれました。人間関係がすでにできている沖縄や奈良の子どもたちと違い、一般公募した子どもたち 10 人にとって、満足のいくキャンプであったかどうか気がかかるところでした。奈良の中学生、ハン君とキヨナちゃん2人が奈良を案内したそうですが、キャンプ中に友情が芽生えたことを印象づける出来事でした。

また、沖縄から初めて参加したハルミちゃん(10歳)。帰り際に私の記念Tシャツに彼女のサインをお願いすると、「ウン」とうなずいて左肩に“ハ・ル・ミ”と書いてくれました。彼女は幼稚園のときに、いじめにあい、沖縄のアメリアンスクールに来ました。大きな体と黒い肌は、どこにいても目立つためか、彼女はいつしか自分の殻に閉じこもり、他人に自分をじょうずに表現することができなくなってしまったそうです。そんなハルミちゃんが、最後の晩にマイクを持って、同じ班の子どもたちと一緒にキャンプの感想を述べてくれました。ボソリと一言でしたが、「間違いなく彼女にとって大きな成果でした」とアメリアンスクール代表のセイヤーさんは話してくれました。沖縄に帰ってからも、キャンプが楽しかった様子をお母さんに夢中で話していたそうです。

彼女の成長ぶりは、このキャンプが成功の内に終えることができた象徴的な出来事ですが、このキャンプを支えてくれた関西テレビ青少年育成事業団と大阪 YMCA、元アサヒキャンプの大学生リーダー14人による献身的なボランティアスピリットが大きく貢献したと思います。

また、土佐堀YMCAが事務局を引き受け、関西テレビ青少年育成事業団が資金的にも大きなバックアップをしてくれたことは、今後もこのキャンプが継続できる見通しがついたということです。

資金的にも人的にも大きな負担がかかるキャンプですが、子どもたちの健やかな成長を願いながら、がんばってこれからも続けていきたいと思います。

最後に、ご協力ご支援いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。

9 月 B F ニュース

[Report of the Brotherhood Fund in September]

BF 委員長：栗山 佳三

◇現金提供者：栗山、山田、中村隆君

◇切手提供者：石津、中村隆、山田、栗山、隅田、福永君

○今月の殊勲賞：石津君 310gr



(上から：キャンプ最終日 海洋センターで 全員で記念撮影
／ 9月第1例会で、ゲストやリーダーたちも共にワイズソングを歌って開会 / 島中キャンプ長の挨拶)



ゲストからのメッセージ

(50音順)

- 2年前に続き今回もこのフレンドシップキャンプに参加することができて、とても幸せでした。YMCAや朝日にとっても信頼できるリーダー仲間ができたこと、そして、子供たちの笑顔に直接に触れることはできたこと。なにより、沖縄・奈良・大阪の子供たちが難しい大人の事情に関係なく、とてもとても仲良くなれていることに感動し、すべてが私の宝物になりました。
こんなに素晴らしいキャンプを支えてくださった皆様、本当にありがとうございます。
(関西テレビ青少年育成事業団 井上 晴恵/ぼへちゃん)
- フレンドシップキャンプではお世話になりました。今日はいろいろの方とお会いしお話しができて有意義でした。ありがとうございました。
(ナラ ファミリー & フレンド 内海 眞子)
- フレンドシップでかけがえのない経験をさせていただきました。子供たちの笑顔を見るたび成功へ一歩ずつ近づいていきました。キャンプを支えていただいた方には本当に感謝しています。次のキャンプがあればぜひ行きたいと思います。ありがとうございました。
(アサヒキャンプリーダー 奥村 圭/8×4エイト)
- 多様性に富んだこのようなキャンプは他に例がないと思います。国籍、年齢、男女などいろんな違いを持った子供や若者たちの出会いは、大きな財産になるはずです。ご苦労さまでした。そしてお世話になりました。
(ナラNPO 仲川 順子)
- ワイズメンズクラブと若者たちとの交流は世代間を超えてつながりができると思います。ご苦労いただいています。初期のワイズメンズクラブはYMCAの若者のリーダーによくサポートして頂きました。これからもどしどしこういう機会をつくっていただければと願う次第です。
(YMCA元スタッフ 浜崎 正三)
- ワイズメンズクラブの方々とお話しをさせていただいて本当に良い機会でした。ありがとうございました。キャンパーたちが喜んでる姿を見られたキャンプができたこと、心から嬉しく思います。ワイズメンズクラブの方々のご支援によりできたことだと感じます。今後ともよろしく願いいたします。
(アサヒキャンプカウンセラー 原 真悠/アコム)
- 若いリーダーたちとテーブルを共にし、フレンドシップキャンプの話を楽しくさせて頂きました。ありがとうございました。(大阪ヴェクセルクラブ 本田 繁子)
- 3カ月をかけて全クラブへの部長公式訪問を終えました。この間、少しずつ中西部にクラブ同士の連帯意識の出ている兆しを感じてきました。うれしいことです。今日はフレンドシップキャンプリーダーたちとの交わりを楽しませていただきました。
(大阪ヴェクセルクラブ 松本 武彦)
- Amerasian Camp is a wonderful planning for the children. It's good to have children from different background. Thank you very much.
(ナラNPO アダルシュ・シャルマ)

会員からのメッセージ

- フレンドシップキャンプを無事に終えて、キャンプリーダーの方々と共に例会を持てたこと感謝しています。
(石津 雅人)
- リーダー14人をはじめ、お世話になった方々が集って盛大にフレンドシップパーティーを開催することができて感謝しています。毎年の開催は財政上無理ですが、いつまでも続けていきたいと思っています。(栗山 圭三)
- キャンプは心と心のふれあいの原点です。今日の国連の手でキャンプの成功おめでとう、関係各位今後のご健勝をお祈りします。
(黒田 厳之)
- 今日は多くのキャンプリーダーにお会いできてうれしかったです。
(坂本 千寿)
- フレンドシップキャンプに参加された方、みなさん楽しそうでした。ぜひまた出来る事をお願いします。リーダー、メンバーの方々、お疲れ様でした。(隅田 恵子)
- 私はフレンドシップキャンプには参加できませんでしたが、キャンプのビデオを見せてもらって自分も参加したみたい楽しい気分を味わいました。
しかも、今晚初めて会った方々と同じテーブルとなり、ビデオを見ながら感想とか解説をかわしていたら、このキャンプの初日にはぎこちなかった初対面の方達が終りには皆が仲良くなっていたとのどなたかの発言の如く、和気あいあいの良いフレンドシップパーティーとなったことを感じました。
今夜このパーティーにだけにでも参加させていただいて、勉強になり楽しませてもらいました。(永島 寧)
- キャンプリーダーの皆様お疲れ様でした。パーティーでは若い方に作って頂いた「海之邦」は美味でした。
(中村 幸枝)
- フレンドシップキャンプ、皆様のお力で無事成功できました。次もキャンプができるよう頑張りましょう。大学生リーダーのみなさんありがとう。(中村 茂高)
- フレンドシップキャンプが無事終了してなによりです。今日はリーダーたちを招待いただきありがとうございました。
(浜野 昌保)
- 今日は、ことのほか活気に溢れたパーティーになり、今後の活動をお互い目指したいものです。(福永 嘉彦)
- 久しぶりのにぎやかな例会で、やっぱり大勢なのがいいですね。これを機にEMCとファンドを作り力を入れる必要性を痛感しました。
(藤原 正巳)
- 今日は大勢のゲストを迎え、お料理もおいしく楽しいパーティーでした。若いリーダーとお話しもできて、大変よかったです。
(松浦 和子)
- 永島さんが久しぶりにお見えになってうれしいことでした。若いリーダーたちと一緒に楽しい会でした。こちらも若くなった思いです。
(松浦 孝次)
- フレンドシップキャンプリーダーの皆様と気炎をあげていると、10歳以上若い気持ちになりました。
(山田 孝彦)
- フレンドシップキャンプ成功を祝って！今日の例会は若くて華やいだ雰囲気よかったです。(三浦 直之)

《 編集後記 》

9月例会は、フレンドシップキャンプ振りかえりの会、若いキャンプリーダーたちが、ワイズメンズクラブの活動の一端を知ってくれたことは大変うれしいことでした。(松浦 孝次)